
Work perform miracles GIFT

斎藤 君亜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Work perform miracles GIFT

【Nコード】

N7341Z

【作者名】

斎藤 君亜

【あらすじ】

クリスマスの夜。

僕に？奇跡？が来てくれた。

今、僕はこう思っている。

彼らならきつと、世界の救いになると……。

吐く息は白く、そのまま宙を漂う。
今、僕は病院の前にいる。

妹が不治の病で今夜にでも逝ってしまつらしい。

今日はクリスマス・イブ。僕は今日ある予定をすべて捨ててきた。
それなのに……

「理不尽すぎるだろ……」

妹は今日にも死んでしまう。今日を迎える全ての人の中にはもちろん悪人も含まれるだろう。

それが悔しくてしょうがない。

妹がなにをした？ なにもしていないだろう！？ だって、生まれた頃から何にもできなかつたんだから！

悔しい。

悲しい。

無力な僕、そんなのが兄で妹は幸せだったのだろうか？

そんな考えを持ちながら空を見上げると、雪が降ってきた。

「ホワイト、クリスマスか……」

雪を手に取り、呟いた。

そして、悲痛な声で叫んだ。

「あいつを救ってくれよ！ 頼むから！ 一生の願いだから！」

そう叫んだ僕の目の前に救いは現れた。
その人はバイクに乗ってきた。

「梶原さんだよね！？今すぐ妹さんを退院させるんだ！そうしたら、この薬を飲ませて！それで妹さんは助かるから、さあ早く！僕たちは他にもいかなきゃいけないから！君の妹さんと同じ病気で苦しむ子供たちのためにもね」

その人は僕と同じくらいの年齢だろう。
大学生の僕と同じぐらい年の人作った妹を助けられる薬。
普通なら信じないだろう。

でも、僕は、その薬を妹に飲ませた。
するとどうだろうか、妹の表情は柔らかくなり、心電図も正常値を示していた。

「なんだ、この薬は……。奇跡が、起きたぞ」

僕はその薬が入っていた瓶のラベルを見る。
そこには英語だけど、確かにそうあった。

Work perform miracles
GIFT (奇跡を
起こす贈り物)

と……。

ありがとう。
本当の奇跡を……。
そして、僕はこうも思った。

この奇跡を起こすGIFTが、すべての患者に届きますように、と。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7341z/>

Work perform miracles GIFT

2011年12月24日11時45分発行